

韓国 禅雲山クライミング情報

2009.06.12

2009年5月より6月にかけて、韓国全羅北道・禅雲山へクライミングに出かけました。その経験から、初めて訪れるクライマーが出かける前に知っておいた方が良いと思われる情報を幾つかまとめたものです。すでにネット上に流れている情報も含まれますが、これ以外の情報については、ネットで集めてみてください。禅雲山のトポ（日本語）もネットで手に入ります。

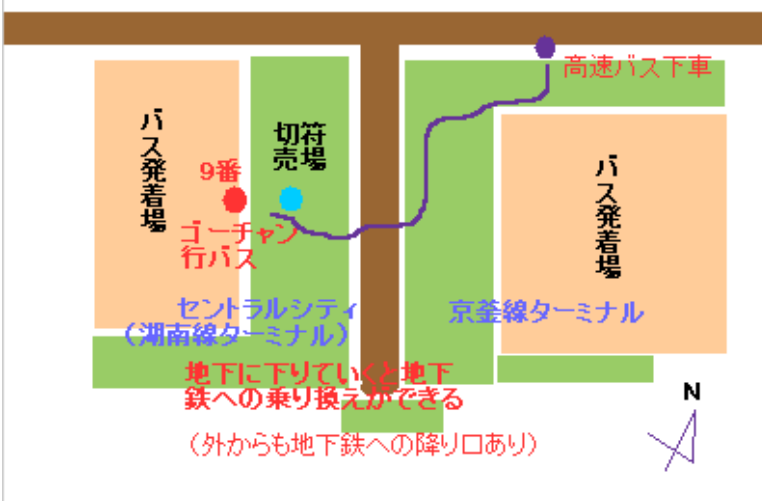
<アクセス>

●仁川（インチョン）空港にて入国手続きが終わったら、タクシーかリムジンバスでソウル高速バスターミナルに向かいます。空港から外に出る所にタクシーとリムジンバスの案内がありますが、タクシー1台が75000ウォン、バスは1人9000ウォンなので、急がないのならリムジンバスがおすすめです。外に出ると係員が乗るバスを教えてください。

（右）インチョン空港からソウル高速バスターミナルへの乗り場



<ソウル高速バスターミナル(江南バスターミナル)>



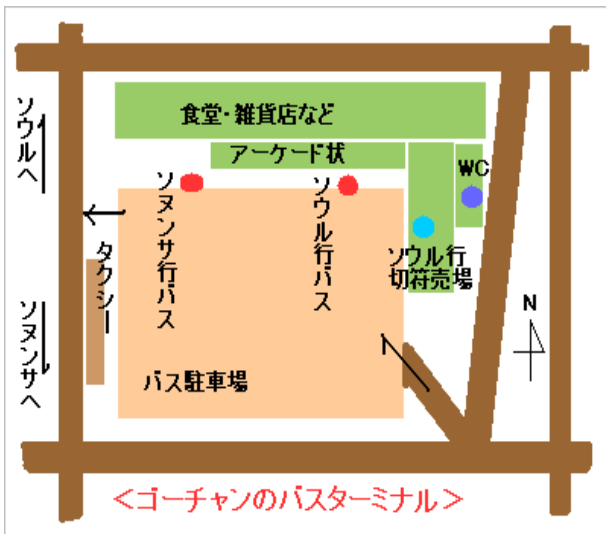
●1階の切符売場でバスチケットを買ったら、外に出てゴーチャンと書かれた場所でバスに乗りますが9番から出ていました。ゴーチャンまで、14300ウォン。ソウルを出ると、途中サービスエリアでトイレタイムが15分ほどありますが、ゴーチャンまでほぼ直行で、3時間半弱で到着です。

（上）ソウル高速バスターミナル （右）ゴーチャン行乗り場



●ゴーチャンのバスターミナルに着いたら、今度はソヌンサ行きのバスに乗ります。私たちは19時に到着し、19:25のソヌンサ行きバスに乗りました。面倒な人はさほど高くないのでタクシー利用という方法もあります。バスは下車時に運賃を払い、2000ウォンでした。ソヌンサには20:00頃到着しましたが、数件の飲食店が開いており、なんとか夕食が食べられました。食糧兼雑貨店もあり、次の日の岩場での食べ物や水を購入できます。

●ソヌンサからゴーチャンへのバスは本数が1時間に1~2本程度ありますが、確認しておくとい良いでしょう。ソヌンサからゴーチャンに着いたら、ターミナル内の専用売場でソウルまでの切符を購入します。



(左) ゴーチャンのバスターミナル
 (右) ソヌンサ行乗り場
 (右下) ゴーチャンソウル間の運行バスの運行バス



●ソウル高速バスターミナルに着いたら、そのまま帰国の人はリムジンバスでインチョン空港へ。ソウルの市内観光を予定している人は地下鉄を利用すると良いでしょう。乗り場へは地下に下りていくか、一旦外に出て地下鉄の入口を降りることになりますが、乗り方は日本と同様で、自販機で切符を購入したら、色と番号にしたがって進むと目的の地下鉄に乗れますが、路線図を1枚コピーしておくとい良いでしょう。終点駅を確認してその方向の電車に乗ります。ソウル中心部へは3番オレンジです。

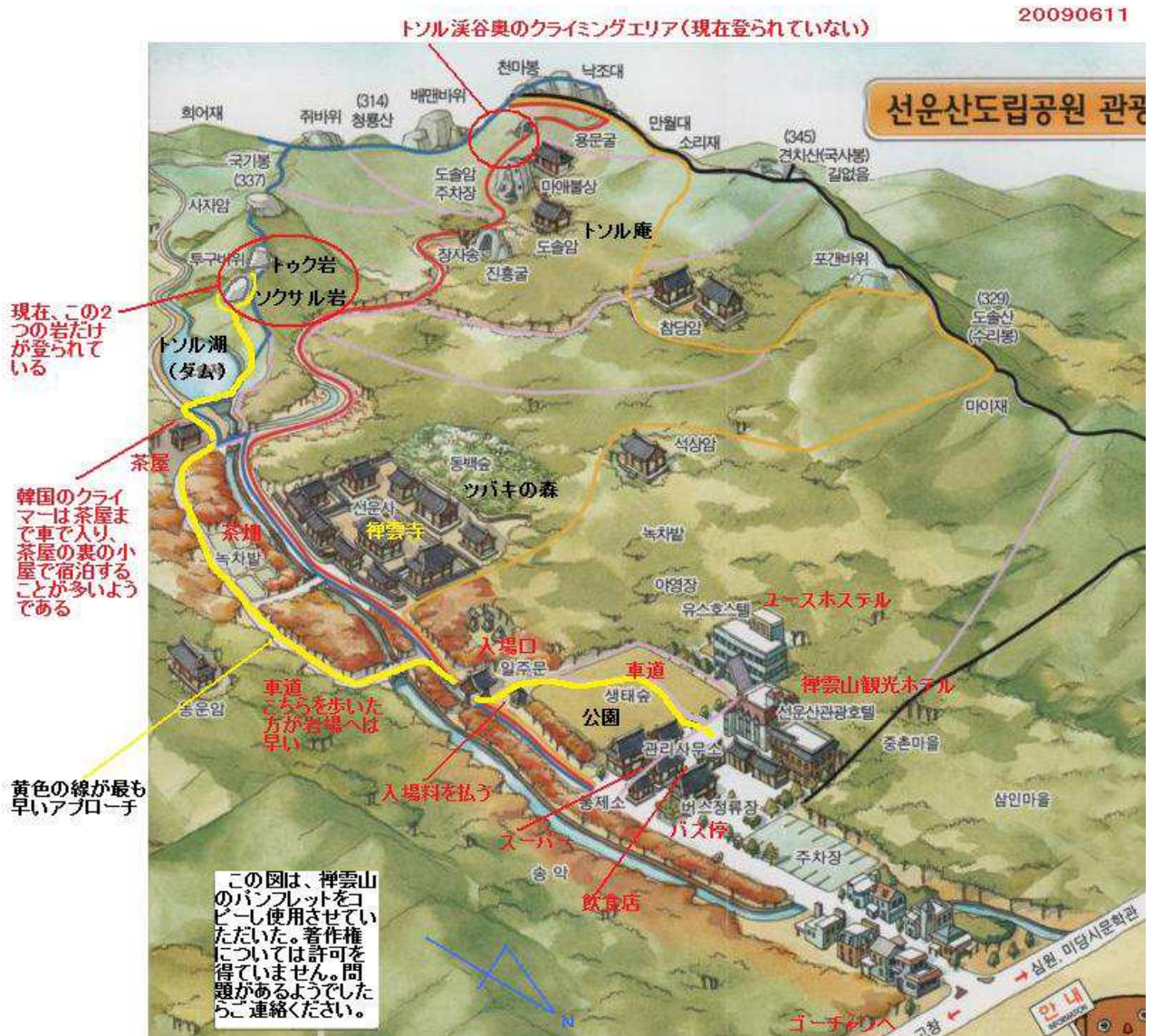
●ソウル市内からインチョン空港へのリムジンバスは、写真のような表示のあるバス停で待ち、その番号のバスが来たら乗車します。9000ウォンで前払いです。他に空港へ行く方法は地下鉄から電車を利用して行く方法がありますが、時間がかかり、料金もさほど安くはないということです。



(左) 地下鉄路線案内表示 (右) インチョン空港へのリムジンバス乗り場 (光化門近く)

<岩場情報>

<禅雲山周辺俯瞰図&ソクサル岩・トゥク岩アプローチ図> (禅雲山のパンフレットより)



- ソヌンサンの観光パンフレットをコピーして手を加えたものです。現在、トソル溪谷上部の岩場は登られていないらしく、ソクサル岩とトゥク岩の2つだけが登られてるようです。
- 我々が宿泊した禅雲山観光ホテルから黄色のラインが最も岩場まで近いアプローチです。禅雲寺手前の入場口にて入場料(2500ウォン)を払いますが、クライミングだと伝えると免除してくれることもあるそうです。私たちはこの寺が豊臣軍(多分)の焼き討ちにあって焼失し、現在あるものは再建されたものであることと、未永く保存されるようにという気持ちを込めてのお布施ということで、毎日払うことにしました。ホテルから入場口まで10分程。
- 入場口より20分程車道を歩くとクライマーの面倒を良く見てくれるというおばさんの茶屋があります。土日以外は朝早いと開いていませんが、簡単な食事がここでできます。トイレはここが最後なので、できるだけここで済ませるようにしましょう。
- 茶屋から右にトソル庵方面への橋を渡らず、休憩所左側から車止めのある道に入ります。しばらく行くとロックフィルダムのトソル湖(池)があり標識に沿って堤防を対岸に渡ります。対岸の道を少し行くと右に鉄の階段がありますのでそこから山道に入ります。広葉樹の林の中を登っていくと、白い案内板があり道が左右に分かれます。ハングルなので読めませんが、左にトラヴァース気味に行くと、ソクサル岩、右にそのまま道を登っていくと尾根に出てトゥク岩に行きますが、ソクサル岩の上がトゥク岩なのでソク

サルから回っていった方が岩場の概要が分かりやすいでしょう。ここまで茶屋から 30 分程、ホテルからちょうど 1 時間ほどです。岩場の配置は、ソクサルの北面 (?) とトゥク岩の南面 (?) が向かい合っており。両岩は簡単に行き来できます。また近くにムン岩というエリアがあり、ソクサルから下り気味に 5 分ということで行こうとしたのですが、全く登られていないようで、ほとんど道が分からない状態でしたので行くのを諦めました。

●岩質は鳳来湖や有笠山と同じ流紋岩です。噂に聞いた石灰岩ではありませんが、全体が垂直以上に被っており、大小の穴を使ったクライミングが特徴的で、ラインが長いので数本登れば非常に充実感が味わえます。

●プロテクションはハンガータイプのボルトで、終了点はワイヤーとクレーン用の工業用フックが多用されており、ゲートの無いものがあるので注意が必要です。

●ロープは 60 m あれば安心。クイックドロウは多くのルートに既にかかっているとはいえ、12~3 本程度は必要です。1 本目が高いと感じたら、岩場に置いてある竹のプリクリ棒を使用できます。

●土日は韓国のクライマーが大勢集まり、情報が得やすい反面、現地のクライマーのトライの間合いや順番待ちなどがよく分からず、思ったようにトライができない可能性がありますので、平日に何日か登れるよう旅程を組んだ方が良いと思います。

●トポについては、事前に知り合いから頂いて行きましたが、オンラインでも手に入ります。ソウルで韓国の岩場トポ集 (30000 ウォン) を見ましたが、内容的には持って行ったトポとほとんど同じで、新しいラインも入っていませんでした。他のエリアを訪れる方はともかく、ハングルを理解できないこともあり、ソヌンサンだけなら特に購入の必要はなさそうです。書店の店員さんに訊きましたが、英語版は出ていないようです。ネットには英語版のサイトがありますが、トポはほとんどなく概要のみなので分からないことは現地の韓国クライマーに尋ねるのが一番で、皆とても親切で丁寧に教えてくれます。多少英語が通じる方もいますし、クライミングという共通言語がありますので、意思は自ずと通じるものです。



(上) 岩場へのアプローチ (右上) ソクサル岩 (東面)
(右下) トクク岩南面 (右側) とソクサル岩北面 (左側)

●韓国人クライマーお薦めのルートは以下の通りです。実力に合わせてトライしてみてください。

○ソクサル岩

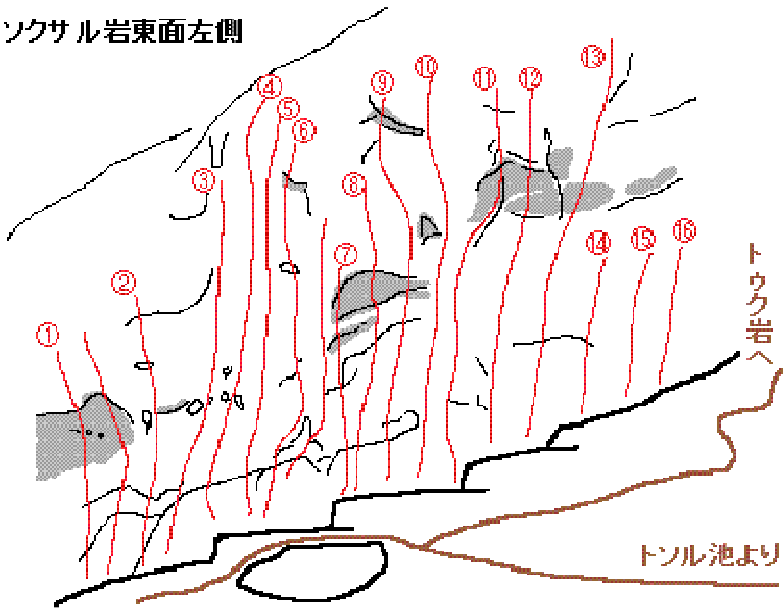
ドリョカン・サランド(12b)、セネギ(11b)、JJC II (11b)、ZOO(12a)、パズル(12b)など。たぶん壁の右側のハイグレードのラインにもお勧めラインがあると思われます。

○トクク岩

シナブロ(12b)、ホーキダリン(12d)、センドオクル(13a/b)、チンダレ・タイチェン (13b/c)など。「タイチェン」とは「仮面」のことだそうです。

●参考になればと、私が作成した岩場の一部分のトポを載せます。多分間違いもあると思われるので、現地に行かれた方は確認してみてください。またトポに載っていても脆いラインは登られていないので、それも確認が必要です。

ソクサル岩東面左側



ソクサル岩

- ①ポー(11b) ハングのガバ
- ②ベガンパイプ(11a) 穴のガバ
- ③ナンジャエイリン(12b)
- ④ドリョカン・サランド(12b) サランドはピープルのこと。
- ⑤デカキ(11d)
- ⑥セネギ(11b) 誰もが薦める穴を使った楽しいライン。最後が核心。
- ⑦JJC I (11a) 大きなハングの左より。ガバだがホールドが遠い。
- ⑧?(13b) 大きなハングの中央を突破するライン。
- ⑨JJC II (11b) 難しいムーヴはないが適度なホールドの続く長いライン。

⑩JJCⅢ(11c)

- ⑪ZOO(12a) 変化があり楽しい。是非登りたい1本。
- ⑫パズル(12b) これもお薦めとのこと。
- ⑬ティー・シー・ユー (TCU?) (12d)
- ⑭ユー・ジェネレーション・シンセイディ
- ⑮サオレ・フォンギョ・ジェネレーション
- ⑯チャンスー・アダパトダン

トウク岩南面左側



トウク岩

- ①(11c/d) ガバだが持久力が要る。
- ②(12b/c)
- ③シナブロ(12b) 最後のボルトまではムーヴは簡単。しかし終了点手前でホールドの向きが悪く動けなくなる。
- ④(12b)
- ⑤ホーキダリン(12d) 最後はハングを右上に抜ける。見栄えのするライン。
- ⑥ジョーカー(14のどこか)
- ⑦ソウル・サバイバー(14のどこか)
- ⑧(12a/b)
- ⑨(12a)
- ⑩(11c) カンテの左側
- ⑪(12a) カンテの右側。上部はスラブ。

- ⑫(10a) たぶん左の壁使用可。
- ⑬(10c)
- ⑭(10d)
- ⑮(11a)

<その他>

●噂に聞く、ソウル東大門市場のクライミング関係のお店が集まる場所は下図の通りです。ウォン安のため日本で購入するより何十パーセントか安く買えますので、時間のある方は訪れて見ると良いでしょう。この近くに魚を焼いて食べさせてくれるお店が並んでおり、その一角の日本の週刊誌(?)に紹介された記事のコピーが貼ってあるチキンの料理店(元組ウォンハメソムナンシハンマリ)で食事をしましたが、とても美味しくお勧めです。

●ソウルでは英語や日本語がある程度通じますが、韓国の地方では日本の地方と同様、ハングル以外は殆ど通じません。ホテルでも英語がうまく通じずバウチャーの内容を説明するのに苦労しました。それも旅の楽しさですが、行き先のハングル文字を含め簡単なハングルの覚えていった方が良いでしょう。

●韓国は日本とコンセントのプラグの形(写真参照)と電圧が異なります。現在ある程度の電圧の幅をもった充電器が多くなってきており、韓国用プラグを持参すればいいのですが、そうでない人は充電用のコンバーター機器が必要です。

●ソヌンサでの買物は雑貨と食料と一緒に売っている小さなお店と観光案内所の裏手(公園側)にスーパーがあります。必要なものは大体手に入ります。特にスーパーは韓国の食生活を身近に感じることができ、見るだけで楽しいところでした。

●食事は、ホテル内及び外の飲食店の並びで食べられますが、ハングルが分からずプルコギなど韓国の有名な料理を挙げるのですがあまり通じませんでした。ところでこの辺りはビビンバ発祥の地ということで、いろいろ種類があるようです。また鰻も名物とのこと。ビアールでは通じずメッチュで即通じます。チキンか何かの料理を頼んだら、非常に美味しいサムゲタンが出てきたのには感動しました。いろいろ面倒な人は、ホテルの食事もそれなりに美味しいので、それで通してもいいのではないかと思います。



<お世話になった方々に感謝>

●今回、クライミングからバスや地下鉄の乗車などで様々な韓国人の方々にお世話になりました。

まず、事前にソヌンサの様々な情報をいただいた鈴木牧え氏にお礼を申し上げます。そして韓国入国後、ソヌンサに到着した夜に声をかけてくれたチョン・チャン・ヒーさんにはソヌンサを発つ日まで岩場ではいろいろとお世話になりました。また英語が少し話せてクライミング中に丁寧にラインを教えてくださいましたヒュン・キョン・ジンさんや福島に友人がいるという女性の方、そして韓国で英語の教師をしておられるカナダ人の女性とアメリカ人の男性、さらに禅雲寺でお茶を御馳走していただいた、日本にもいたことがあるという3人の男性、地下鉄の乗り場まで丁寧に案内していただいた現在日本に住んでおりソウルに里帰りしているという男性、等々、沢山の方々にごこの場でお礼を申し上げます。韓国の方の名前の発音は正確かどうかは分かりませんが、上の名前のお二人は多分休日には岩場にいつもおられると思います。このサイトを見て行かれた方はよろしくお伝えください。